

第3回「砂礫の最小・最大密度試験方法基準化委員会」議事録

日 時:平成 16 年 11 月 8 日(月) 13:00～16:00

場 所:財団法人 深田地質研究所 会議室

出 席:國生委員長, 畑中副委員長, 原幹事, 小林幹事, 向後委員, 後藤委員, 木幡委員, 小濱委員,
酒井委員, 佐藤(弘)委員, 佐藤(信)委員, 下村委員, 関根委員, 村山委員, 山田委員

欠 席:稲垣委員, 工藤委員, 田邊委員

議 事:

1. 基準化案, 解説案, データシート案についての討議
2. 上部委員会への上申についての審議
3. その他
4. 次回について

議事内容:

1. 基準案, 解説案, データシート案についての討議

(1)基準案について

【資料 04-3-2】 砂礫の最小密度・最大密度試験 基準(案)(2004.11.8 修正版) (原幹事)
・変更点(気乾状態, 粒子破碎率)の説明. 討議内容, 修正項目については「2 基準案について
の内容審議」を参照.

(2)解説案について

【資料 04-3-3】 砂礫の最小密度・最大密度試験 解説(案) (畑中副委員長, 原幹事, 小林幹
事, 山田委員)

・変更点(壁効果, 理論限界細粒分含有率, 試験用具, 図-2.1.6, 図-2.1.10, 図-2.1.11 粒子
破碎率, 図-2.1.18, 図-2.1.19, 表-2.1.3, 鉄道における事例, 海外における事例)の説明.

(討議および修正項目)

- ・図-2.1.4 は必要か? 結果の説明を示しているのみである. →削除または適切な図に差し替.
- ・図-2.1.6, 図-2.1.10, 図-2.1.11 は最小試験結果, 最大試験結果でそれぞれペアで載せた
方がよい. 見にくいため図の影はとる.
- ・図-2.1.2 のキャプションを修正する. 間隙率→最小間隙率.
- ・実験室, 試験室の語句を試験室に統一する.
- ・図-2.1.15 の最大密度増加率は語句の定義が必要.あるいは, 図-2.1.16 と併せて 1 枚の図に
する.このときの試料の粒度分布を図示する(p3 右段下部, 試料の説明).

- ・p4 左段, “小型容器”の説明, あるいは語句の変更する.
- ・図-2.1.14 の JGS 基準→JIS 規格.タイトル“規格の解説”→“基準の解説”
- ・図-2.1.14 の中大法, 電中研法は説明が必要.あるいは語句を変える.
- ・p5 右段下部, 加振時間, 投入層数の結論には図が必要.
- ・p6 左段下部, 代表的な測定例の事例の試験方法を説明.今回, 基準として策定する試験方法に近い方法であることを説明する.
- ・p7 左段 13 行め, 平均主応力→平均主応力.
- ・図-2.1.18, 相対密度と剛性の関係図の方が分かりやすい.図を探して載せる.
- ・図-2.1.19, G75,G50,TS,HC,LC などの語句の説明が必要.あるいは, ここで述べていることと関係なければ削除.
- ・図-2.1.24, 図-2.1.25 は情報量が多く, 作図方法を工夫する.
- ・p13 の海外の事例については取扱いに関して注意が必要.参照できない可能性あり.

(3)データシート案について

【資料 04-3-4】 砂礫の最小密度・最大密度試験 データシート (案) (下村委員)

- ・変更点 (比重の記入, キャリブレーション結果の記入) の説明.

(討議および修正項目)

- ・比重→密度.
- ・用語の統一. 供試体高さ測定器→高さ測定用具 (解説中の語句に併せる).

2. 上部委員会への上申についての審議

【資料 04-3-2】 砂礫の最小密度・最大密度試験 基準 (案) (2004.11.8 修正版) (原幹事)

- ・上部委員会の次回開催日は 12/7 を予定しており, 今回委員会の審議により可能であれば, 資料 04-3-2 の基準案を提出したい旨の説明があった.

(討議および修正項目)

- ・後述する【資料 04-3-5】の内容も含め, 現状の基準 (案) に若干の修正をしたものを親委員会に提出することで同意. 上部委員会での説明は原幹事 (土質試験規格・基準検討委員会委員) および小林幹事により行う.
- ・図 3 については小さいバイブレーターも使用可とする. 図面の修正は行わない.
- ・(p2)規格→基準に修正する.
- ・その他軽微な修正については 11/26 までに原幹事に連絡.

3. その他

【資料 04-3-5】 φ200 mmモールド内に直接投入可能な上載型バイブレーターによる最大密

度試験結果(原幹事)

- ・φ200mm モールド用のスペーサーの要らないバイブレーターで行った実験結果の説明

(討 議)

- ・試験結果を基準(案)に反映させ、φ200mm 用のバイブレーターは、スペーサーの要らない加振器も使用可とする。

4. 次回について

- ・今後のスケジュール

11/下旬 メールにて基準(案)の送付

11/29 基準(案)提出

12/7 基準部会

- ・次回委員会 2005/1/26(水) 15:00～ JGS 会館会議室にて開催予定。

以 上